

# 森と水の祭り REPORT



## ・「第1回 森と水の祭り」とは・・・

2018年2月4日（日）横浜港大棧橋ホールにおいて第1回「森と水の祭り」が行われました。

「森と水と世代」をテーマとした祭典を継続的に開催することで、森と水に関連するすべての事柄が生態系に影響する意識を次世代へつないでいく保全活動だと、間接的ではあるが気付きの経験体験をした学童より父母、祖父母、友人へと伝える効果を確認できる場と再認識できる場の提供を行う。この祭典を上下流地域の連携行事と位置付けることにより、我が国の木育の一環として最終的には、同じ経験体験をしている学童・保護者・団体等の行動確認として水源製品への消費へ繋げるイベントにすることを目的に開催されました。

（主催者）

## ・水源列車も一役を担いました。

水源列車とは、母なる川、桂川・相模川（道志川を含む）の水源林から産出された木を材料にして、地域の職人の技によって製作された機関車と客車によって構成された乗り物の事。



乗車頂いた皆さんには、「木の香りがいいね！」と感想をもらいました。ご乗車中は、森林と水の関係性や近代水道発祥の地「横浜」のこと、また、ヨコハマ初めて物語として、ヨコハマ発祥の物や出来事を紹介しました。今回は、第1回森と水の祭りのイベントを盛り上げるため、「2018 ミス日本みどりの女神」も来場。水源列車にもご乗車いただきました。当日は、子ども226人、大人226人の合計452人の皆様に水源列車へのご乗車をいただきました。

写真提供：（一社）ミス日本協会